

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3120 保育学			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜4限				
教室	D109教室				
代表教員	山口 理沙				
担当教員	山口 理沙				
テーマと到達目標	学問としての保育の視座を獲得する。保育の営みを形成する、子ども理解、保育内容、方法、計画と省察のプロセスを理解し、保育実践をとらえる視点について取り組む。				
概要	この授業では、保育を学問として扱う。つまり客観的分析対象として、保育を見つめることから保育を問う。多角的に保育を分析することから、その営みの理解を深め、実践者として必要な知識や技術を身に着けることを目指す。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション：授業概要と評価基準、授業において求められること				対面授業
第2回	保育とはなにか？				対面授業
第3回	子ども理解				対面授業
第4回	子どもと発達				対面授業
第5回	保育のはじまり				対面授業
第6回	保育と生活				対面授業
第7回	保育と遊び				対面授業
第8回	保育と環境				対面授業
第9回	保育の援助				対面授業
第10回	アートの思考の教育				対面授業
第11回	児童文化				対面授業
第12回	保育の計画				対面授業
第13回	保育の実践				対面授業
第14回	保育の省察および評価				対面授業
第15回	まとめ：保育を学問とすることは可能なのか？				対面授業
成績評価の基準	毎授業の課題及び授業への取り組み状況60%、学期末レポート40%				
履修にあたっての留意事項	この授業はベルとともに開始し、出欠について厳格に管理する。保育以外の学生も歓迎するが、保育の厳しさや、やりがいについて学ぶ科目であると理解したうえで履修してほしい。絵本の読み聞かせ等、授業外に準備をし、人前で絵本の読み聞かせの実演を行う。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	実際に技術実践を行うことも想定している。絵本等、児童文化について図書館や書店で探す必要がある。		
教科書	特に定めず。適宜各論に対応したものを提示する。	教科書(ISBN)	
参考文献	『幼児教育へのいざない 増補改訂版』佐伯胖 著 東京大学出版会 『保育学講座3 保育のいとなみ』日本保育学会 編著 東京大学出版会	参考文献(ISBN)	978-4-13-053086-6 978-4130522038

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--